

第73回 姫路市美術展

2019年 3月9日(土) ▶ 3月24日(日)

姫路市立美術館 企画展示室 ●休館日：月曜日 ●料金：無料

1946(昭和21)年、第1回展が開催されて以来、本展は兵庫県内で最も古い公募展として今日まで続いてきました。15歳以上であれば国籍、居住地を問わず、どなたでも応募できる開かれた展覧会です。応募作品から入選・入賞作品を公開します。本年度は審査員による公開講評会を催します。



photo: Megumi Iwasaki

ロビー展示 (姫路市役所ロビー1階)

男性の肖像

4月9日(月) ▶ 7月6日(金) ●休館日：土・日曜日、祝日 ●料金：無料

巨匠たちが描いた肖像を男性と女性に分けて展示いたします。男性像は女性像の陰に隠れがちですが、画家の力量がよく現れる作品ぞろいです。

女性の肖像

7月9日(月) ▶ 10月5日(金) ●休館日：土・日曜日、祝日 ●料金：無料

女性の像は古くから描かれています。当館が所蔵する中から女性の肖像を展示いたします。郷土の作家から、近代の巨匠まで、さまざまな個性をお楽しみ下さい。

小出橋重 壁面装飾のための7枚の静物画

10月9日(火) ▶ 1月11日(土) ●休館日：土・日曜日、祝日 ●料金：無料

小出橋重は近代日本の洋画の巨匠です。彼がある邸宅の壁面装飾の為に描いた静物画を、再現的に展示いたします。

横尾忠則 アンリ・ルソーのパロディ

1月15日(火) ▶ 4月5日(金) ●休館日：土・日曜日、祝日 ●料金：無料

横尾忠則はアンリ・ルソーの作品をパロディにした作品を何点か描いています。その中からユーモアあふれる作品を展示いたします。

2018年度 友の会会員 募集中

- 年会費：普通会員800円、学生会員400円
- 常設展・企画展の無料観覧
- 美術鑑賞旅行など友の会イベントのご案内
- 美術館内喫茶の割引利用 など

お問い合わせは 友の会事務局へ ☎079-222-2288

INFORMATION [ご利用案内]

開館時間

午前10時～午後5時(入場は午後4時30分まで)

休館日

毎週月曜日(祝日・休日の場合を除く)、7月17日(火)
*4月30日(月)は開館しています。

休館のお知らせ

館内改修のため、企画展示室、コレクションギャラリー、常設展示室は平成30年8月～平成31年2月閉室予定です。庭園は平常どおり開園する予定です。

交通

●鉄道(姫路駅まで)

JR新幹線・・・新大阪から約30分、岡山から約20分
JR在来線・・・大阪から在来線(新快速)で約1時間、JR三宮から約40分
岡山から約1時間25分

山陽電車・・・梅田から約1時間30分、三宮から約1時間

●姫路駅から

徒歩約20分
神姫バス[7]または[8]乗り場から乗車約8分、
「姫山公園南・医療センター・美術館前」停留所下車すぐ

●車(姫路城を目標にご来館下さい)

中国自動車道 福崎I.C.より播但連絡自動車道で砥堀ランプ下車約15分
山陽自動車道 姫路東I.C.あるいは姫路西I.C.下車約15分
阪神高速・姫路バイパス中地ランプ下車約15分

*美術館には駐車場はありません。姫山駐車場(有料)等をご利用ください。



姫路市立美術館
〒670-0012 兵庫県姫路市本町68-25 TEL 079-222-2288
http://www.city.himeji.lg.jp/art/

Himeji City Museum of Art

EXHIBITION
SCHEDULE
2018-2019



大野英風 「大日本魚類画集」より「トビウオ」 1938年

姫路市立美術館
展覧会のご案内

常設展示室

通年(休館中を除く)

國富奎三コレクション

フランス近代絵画 モネからマチスまで

●休館日：月曜日(祝日の場合は開館し翌日休館)
●料金：一般 200(160)円/大高 150(120)円/中小 100(80)円
*()内は20人以上の団体料金

國富奎三氏より寄贈いただいたフランス近代絵画を中心とするコレクションから約30点を展示しています。



クロード・モネ
(ブティ=ジュヌヴィエーヌにて日の入り)
1874年

CALENDAR [美術館カレンダー] ●休館日 ●工事休館予定

4 2018	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	5	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	6	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
7	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	8	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	9	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
10 2018	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	11	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	12	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
1 2019	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	2	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28	3	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

連作の小宇宙
ピカソの肖像画から大日本魚類画集まで
4月7日(土) ▶ 6月24日(日)

前期：4月7日(土)～5月20日(日)
後期：5月22日(火)～6月24日(日)
姫路市立美術館 企画展示室
●休館日：月曜日(4/30は開館)
●料金：一般 600(400)円/大高 400(300)円/中小 100(50)円
*()内は20人以上の団体料金

美術作品には、複数の作品で成立することをめざしたり、シリーズ化されたりする作品があります。これらの作品はひとつの世界をつくり、一枚一枚の作品でも成立するもの、まとめて見ることで、作家の世界観についての理解がより一層深まります。姫路市立美術館にもそのような作品が数多くありますが、このたびの企画展では、そうした作品を一堂に並べ、展示いたします。



中村忠二「動物と私 水墨画(カンガル) 1958年」

美術館庭園アートプロジェクト
松井紫朗のセンス・オブ・ワンダー
7～11月頃 7月8日上映会を予定。その他イベント開催日程はホームページをご覧ください。http://www.city.himeji.lg.jp/art/

姫路市立美術館庭園
●休館日：月曜日 ●料金：無料
現代美術家・松井紫朗が、姫路市立美術館の庭園、そして改修中の美術館をプラットフォームとして、「手に取る宇宙—Message in a Bottle」地上ミッションを展開し、イメージーションの場へと変換します。私たちがいる地球/美術館を包み、無限のかなたにひろがる宇宙。私たちは今、この宇宙のどこに、どう生きていますか？このアートプロジェクトがもたらす経験は、国際宇宙ステーションの軌道上の「宇宙」を手にする事、変容する美術館空間を体感することによって生まれる、私たち自身への日常とは異なる視点からの問いかけです。



参考写真「手に取る宇宙—Message in a Bottle」東大寺での地上ミッションの様子 Photo:福永一夫 2014年
松井紫朗 (手に取る宇宙 イメージ・ドローイング) 2013年
松井紫朗 (手に取る宇宙 イメージ・ドローイング) 2013年

姫路市民美術塾 コレクションと対話する
7月18日(水) ▶ 8月16日(木)

姫路市民ギャラリー特別展示室 (イグレひめじ 地下1階)
●休館日：月曜日 ●料金：無料

人間は身の回りの世界を視覚、触覚、味覚、嗅覚、聴覚の五感を使って全身で感じ取り、知ろうとします。古今東西、美術家は、知覚したイメージを他者と交感し合う可能性を追求してきました。点、線、面、空間、時間、様々な次元を行き来しながら、素材と技術を駆使し、物質による造形的表現によって新たな芸術の境地を開拓してきました。

この度の姫路市民塾では、物質に対する独特のアプローチによって斬新な版画表現を展開する気鋭の美術家、芳木麻里絵氏によって選ばれた当館のコレクションを、芳木氏の作品とともに展覧します。フランスで活躍したブランクーシから井田照一まで約20点の館藏品と芳木作品との対話に全身で耳をすます新感覚の鑑賞の旅をお楽しみ下さい。



井田照一 Four Stones リトグラフ、紙 1975年頃
芳木麻里絵 curtain#02 シルクスクリーン、アクリルボックス 2017年 Photo:Omote Nobutada

学校連携プロジェクト展
12月11日(火) ▶ 12月23日(日)

姫路市民ギャラリー特別展示室 (イグレひめじ 地下1階)
●休館日：月曜日 ●料金：無料

今年度は、当館の庭園アートプロジェクトとして「センス・オブ・ワンダー」を展開する現代美術家・松井紫朗と地域の子どもの学びのプロセスや成果を公開します。



参考写真 「手に取る宇宙—Message in a Bottle」東大寺での地上ミッションの様子 Photo:福永一夫 2014年



酒井家と絵画
3月27日(火) ▶ 5月13日(日)
姫路市立美術館 コレクションギャラリー
●休館日：月曜日(4/30は開館)
●料金：無料
江戸琳派の絵画様式を創始したことで知られる絵師・酒井抱一は、姫路酒井家という大名家の出身です。文芸を重んじる酒井家では、抱一以外にもその影響を受けて絵を嗜む人々がいました。酒井家関連の絵画作品を、新収蔵品も交えて紹介します。



池田通邨 (華巖) 1927年

没後30年 池田遙邨の世界
5月15日(火) ▶ 6月24日(日)
姫路市立美術館 コレクションギャラリー
●休館日：月曜日
●料金：無料
池田遙邨は岡山県に生まれ、大正・昭和の京都画壇で活躍した日本画家です。青年期の一時期、姫路に住んでいたことがあり、姫路城をモチーフにした作品も制作しています。館蔵の通邨作品を紹介します。

美術館所蔵品展示 郷土の洋画家たち
8月22日(水) ▶ 9月15日(土)
姫路市民ギャラリー特別展示室 (イグレひめじ 地下1階)
●休館日：月曜日 ●料金：無料
尾田龍 (石膏像のある静物) 1950年

美術館所蔵品展示 日本画の世界
10月2日(火) ▶ 10月21日(日)
姫路市民ギャラリー特別展示室 (イグレひめじ 地下1階)
●休館日：月曜日 ●料金：無料
日本画は主に顔料を膠で溶いて描く伝統的絵画であり、油彩画とは異なる、独特の情感が魅力です。郷土ゆかりから日本画壇を代表する画家の作品まで、館蔵品より日本画の名品を紹介します。

美術館所蔵品展示 ベルギー近代美術名品選
11月6日(火) ▶ 11月18日(日)
姫路市民ギャラリー特別展示室 (イグレひめじ 地下1階)
●休館日：月曜日 ●料金：無料
ヨーロッパの交通の要衝の地として、他国の影響を受けながら独自の美術を発展させてきたベルギー。本展ではベルギー印象派のエミール・クラウスから抽象表現主義のアレシンスキーまで、同国で制作された絵画や彫刻作品とともにその魅力に迫ります。

美術館所蔵品展示 美術作品の広がり
1月6日(日) ▶ 1月19日(土)
姫路市民ギャラリー特別展示室 (イグレひめじ 地下1階)
●休館日：月曜日 ●料金：無料
美術館の所蔵品の多くは油絵や版画といった技法で描かれています。しかし近年の作品はこの枠に留まらないものが多く見られます。また、油絵や版画にしても、新たな技法が生み出されています。所蔵品からさまざまな表現をさぐります。

シュルレアリスムの美術
2月26日(火) ▶ 3月31日(日)
姫路市立美術館 コレクションギャラリー
●休館日：月曜日 ●料金：無料
シュルレアリスムはパリでおこった芸術運動ですが、すぐに日本にも広まりました。このたびの展示では、内外のシュルレアリスム作品を展示します。

※展覧会は内容等を変更する場合がございます。最新の情報はウェブをご覧ください。